

福島のア甲状腺がん→子供 174 人が発病！

これでも原発事故と関係ないのでしょうか？！

東京電力福島第1原発事故の影響を調べる福島の「県民健康調査」検討委員会は14日、2014年4月から実施している2巡目の甲状腺検査で、今年6月までに新たに4人ががんとして診断されたことを明らかにしました。甲状腺検査は、事故時に18歳以下だった子どもと、事故後1年間に生まれた子どもを加えた約38万人を対象に実施。がんやがんの疑いと診断された子どもの数は計174人になります。

これでもなお、国や県は”原発事故と関係ない”といい続けるのでしょうか？！

凍らない凍土壁

＝減らない汚染水

福島第一原発の汚染水対策が、暗礁に乗り上げています。

1～4号機の原子炉建屋群の地下には、一日におよそ400トンもの地下水が流れ込み、原子炉を冷却した後の放射性物質を含んだ水などと混ざり、汚染水となっています。

経済産業省資源エネルギー庁と東京電力は凍土方式による遮水壁（凍土壁）を対策の柱と位置づけてきましたが、いっこうに成果が上がっていません。

原子炉建屋などを取り囲むように造られた凍土壁は今年6月、全面的に稼働した。しかし3カ月近くたっても凍結しない部分があり、汚染水の量は減らないのです。

自主避難者への

住宅支援が打ち切り？！

2017年3月には自主避難者への住宅支援が打ち切られようとしています。

避難の権利を求める全国避難者の会共同代表の中手聖一さんは、「いまこの国がやろうとしていることは、帰還して被曝を受け入れるか、貧困に陥るか、その選択を私たちに押しつけている」と批判しています。

福島原発告訴団長の武藤類子さんは、家を奪われるのは非情なことで、国や福島県は、救済を続けるべき。「理不尽な原発事故で福島に帰れなくしたのは誰なのか」と批判しています。

（9月22日「さようなら原発 さようなら戦争 大集会にて」）

「アンダーコントロールはウソ！」

小泉純一郎元首相

小泉純一郎元首相は9月7日、日本外国特派員協会で記者会見し、東京電力福島第一原発の汚染水漏れを「アンダーコントロール」とした安倍晋三首相の発言について、「これはウソだ。よくああいうことが言えるなど不思議だ」と批判しました。

安倍首相は2013年の東京五輪の招致演説で「アンダーコントロール（管理下にある）」と強調した。だが小泉氏は、汚染水が漏れないように原子炉建屋を氷の壁で囲う凍土壁について「地下水をコントロールすると言うが、いまだにできない」と指摘しました。